

ラジオNIKKEI『キラメキの発想』資料

9月1日（水）から、リニューアルをした
「オプション倶楽部 OP売坊戦略コース」
の開催を予定しています



(2021年8月16日放送分)

- この資料は、ファイナンシャル・リテラシーの向上のみを目的として作成されたものです。
- したがって、いかなる投資勧誘の目的で作られた物ではございません。
- この資料での数値などにつきましては、信頼できる筋からの情報に基づいておりますが、その正確性を保証するものではありません。
- 投資につきましては、あくまで、自己責任でお願い申し上げます。
- 日経OP売坊は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。

2021年9月限月(SQ日:9月10日)までの注目イベント (P.2)

<米国>

8月23日: 製造業PMI(速報値)

8月26日: GDP(改定値)

8月26~28日: ジャクソンホール会議

9月03日: 雇用統計・失業率

[9月23日: FOMC政策金利]

注目

2021年 8月

日	月	火	水	木	金	土
						14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

<欧州>

8月17日: GDP(改定値)

8月31日: 消費者物価指数(速報値)

9月09日: ECB政策金利

2021年 9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	

<日本・世界>

8月18日: 機械受注

8月22日: 横浜市長選挙

8月24日~9月5日: 東京パラリンピック

8月31日: 失業率・鉱工業生産(速報値)

8月31日: 【中国】製造業PMI

9月08日: 実質GDP(二次速報)

[9月22日: 日銀金融政策決定会合]

日経225ウィークリーオプションのSQ日

日経225先物(ミニ・ラージ)と月次オプションのメジャーSQ日

注) 予定は予告なく変更される場合があります。

出所) ブルームバーグ・ロイターなどから筆者作成

OP売坊のグレイ・リノ (P.3)

サイは普段おとなしいが
怒ると、とっても怖いのだ

- 🐘 新型コロナの変異と感染再拡大(デルタ株、ラムダ株……)
- 🐘 東京五輪の印象(海外投資家の視点)
- 🐘 暗号通貨への規制強化



🐘 五輪後のジンクス

🐘 TOPIX・日経平均株価の採用・計算方法見直し



🐘 米国金利の動向(ジャクソンホール会議)

クラリダ副議長の発言にも注目です！ パウエル議長再任問題のヒントになるかもしれません

- 🐘 衆議院選挙(2021年10月21日任期満了) など

グレイ・リノとは、高い確率で大きな問題を引き起こすと考えられるにも関わらず、軽視されている事象のこと。それが起これば、大きな値幅が出るため、オプション投資家にとって重要となる。

特にPUT買いを仕掛けられる可能性や、破産もあり得るPUT売りを避けられる可能性が高くなる。

【グレイ・リノ】東京五輪の印象と日経平均 (P.4)

パラリンピック開催中止は政局にマイナスですからグレイ・リノの危険性があります

ラムダ株上陸
(7月20日)
注)発表は8月6日

想定されるレンジ
(年内): 筆者推測 確率

開催	最終日まで開催	成功	30000円突破も	X%
		不成功	26500-29500	Y%

26000-29000 (8月9日修正)

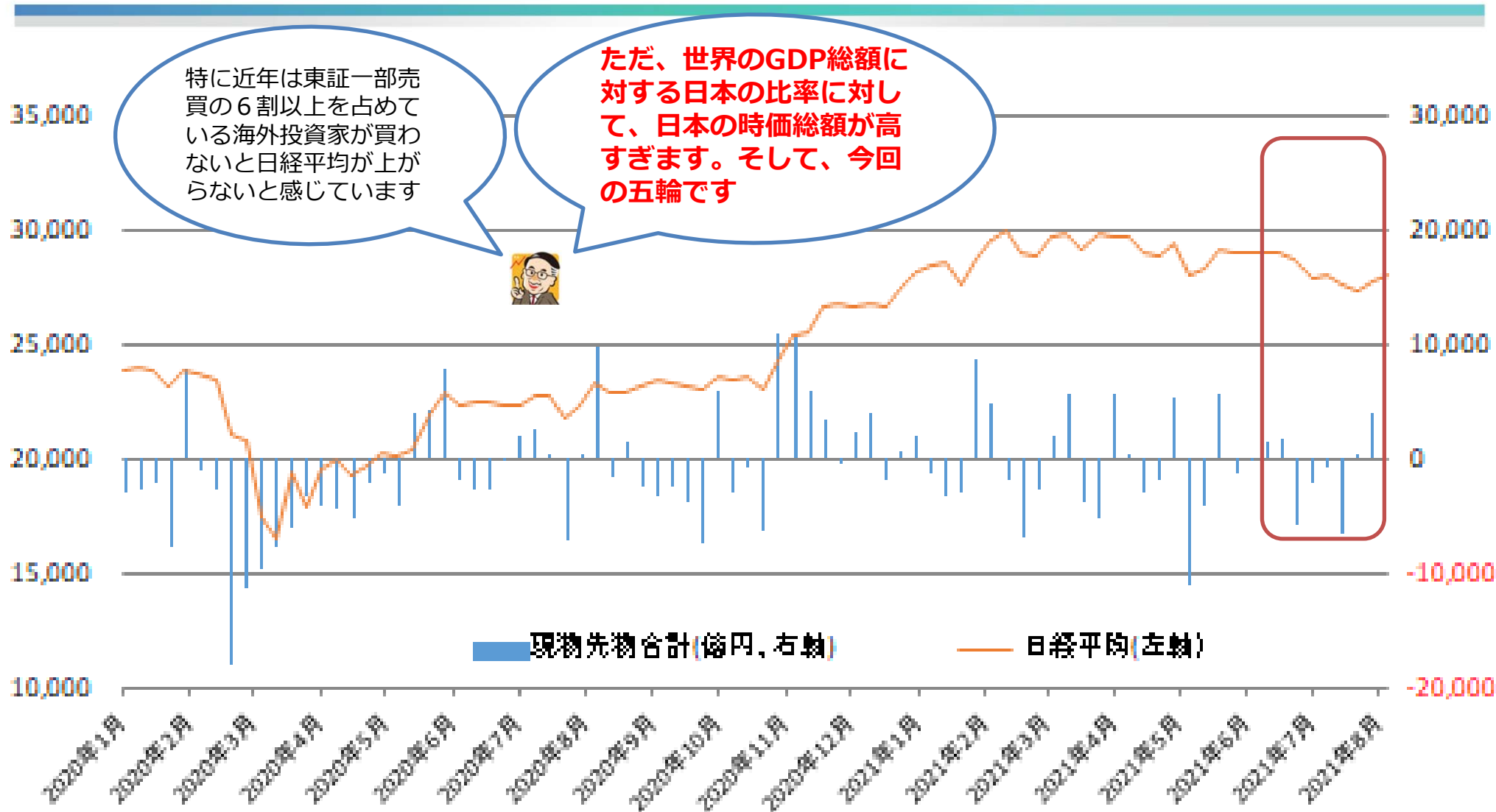
開催	途中中止	不成功	25000割れも	Z%
----	------	-----	----------	----

25500-28500 (8月9日修正)

開催中止			26500-29300円	上記以外のボックス
------	--	--	-------------------------	-----------

出所) 上記はあくまで筆者の推測(7月11日時点)です。(前回放送資料に加筆)

【グレイ・リノ】海外投資家は日本株の比重を下げている？ (P.5)



出所) JPXなどより筆者作成(現物先物合計:2021年8月6日現在)

【グレイ・リノ】五輪後のジंकス：今回は？ (P.6)

五輪による「需要先食い」の反動を埋められたかが各国の経済成長率の差になっています

実質経済成長率
開催前年 開催年 開催翌年

1964年	東京	➡	昭和40年不況				
1992年	7月	バルセロナ	➡	財政悪化、欧州通貨危機	2.5%	0.9%	-1.3%
1996年	7月	アトランタ	➡	景気低迷	2.7%	3.8%	4.4%
2000年	9月	シドニー	➡	ITバブル崩壊	4.4%	3.1%	2.6%
2004年	8月	アテネ	➡	財政悪化、ギリシャ危機	5.8%	5.1%	0.6%
2008年	8月	北京	➡	リーマンショック	14.2%	9.6%	9.2%
2012年	7月	ロンドン	➡	欧州債務危機	1.6%	1.4%	2.0%
2016年	8月	リオ	➡	財政難で治安悪化	-3.5%	-3.5%	1.0%
2021年	7月	東京	➡	コロナバブル崩壊？			

東京五輪：総費用 4兆円？（当初予算：7000億円）

計画性のなさ、論理性のなさ、指導力のなさ、管理能力のなさを露呈

誰が負担？

【グレイ・リノ】TOPIX算出ルールの見直し概要(JPX) (P.7)

TOPIX算出ルールの見直しの概要

参考 1



(1) TOPIX見直しの概要

- 金融審議会市場ワーキング・グループ「市場構造専門グループ」の報告書の内容を踏まえ、市場構造の変更に伴うTOPIX（東証株価指数）の見直しを実施。
- TOPIXは市場区分と切り離し、市場代表性に加え投資対象としての機能性の更なる向上を目指す。
- また、TOPIXの見直しにおいては、多額のパッシブ連動資産や市場への影響を考慮し段階的に移行。
- 今後、市場関係者の意見を踏まえ、移行案を確定（2021年3月末予定）。
- なお、移行完了後の定期選定ルールについては、別途市場関係者の意見を踏まえ策定。

(2) 見直し後のTOPIXの算出ルール

項目	概要
既存の構成銘柄の取扱い	2022年4月1日の構成銘柄について新市場区分施行後の2022年4月4日以降も選択市場にかかわらず継続採用。 ただし、流通株式時価総額100億円未満の銘柄について、「段階的ウエイト低減銘柄」とし、2022年10月末日から、四半期ごと10段階で構成比率を逡減。
TOPIXへの追加	プライム市場への新規上場・市場区分の変更 TOPIX構成銘柄を旧会社とするテクニカル上場
TOPIXからの除外	整理銘柄指定、上場廃止 特設注意市場銘柄への指定
構成比率の上限の導入	10%

(3) 段階的ウエイト低減銘柄の判定・再評価

判定時期等	概要
第1回判定 2021年7月	流通株式時価総額100億円以上か否かを確認（2021年6月30日を基準とする「上場維持基準への適合通知」の値を使用）
第2回判定 2022年10月	第1回判定で流通株式時価総額100億円未満の銘柄について翌期の改善状況を確認。 流通株式時価総額100億円未満であった場合「段階的ウエイト低減銘柄」として指定。 2022年10月以降、10段階に分けてTOPIX組入比率の逡減を開始。
再評価 2023年10月	段階的ウエイト低減銘柄について、①第2回判定の翌期の流通株式時価総額が100億円以上か及び②年間売買代金回転率0.2回転以上かについて確認。 ①と②を満たす銘柄は組入比率を逡減前に回復。 ①のみ満たす銘柄は組入比率逡減を停止。 ①を満たさない銘柄は逡減を継続。

(4) 現行TOPIXに対するカバー率の変化（構成比率ベース）

移行前	移行期間中	移行後
TOPIX 100%	流通株式時価総額100億円以上 →継続採用	TOPIX 99%以上
	流通株式時価総額100億円未満 →段階的にウエイト低減（10段階で構成比率を調整）	

【グレイ・リノ】日経平均株価の採用基準等の主な変更点(予定) (P.8)

- A: 「みなし額面」から「**株価換算係数**」に変更(2021年10月)
- B: 新規採用銘柄には、「**株価換算係数**」を適用(2021年10月)
- C: 定期的な入れ替えは3銘柄までに(2021年10月)
- D: 選定の対象を東証の「プライム市場」に変更(2022年4月)
- E: 「除数」の桁数を小数点以下3位から8位までに変更(2022年6月)

注) 日経平均に新規採用する銘柄の株価換算係数は、原則として1とする。

ただし、日経平均構成銘柄の採用株価合計の1%を超えている場合は、1以外の値(0.1~0.9)を適用する(0.1刻み)。

出所) https://indexes.nikkei.co.jp/nkave/archives/news/20210705J_1.pdf

<想定されるポイント>

- ☆ 1銘柄の比重を低減させる方向性
- ☆ 値がさ株が採用されやすくなる?
- ☆ **裁定業者はいったんポジションを縮小**

TOPIX・日経平均の採用基準・計算方法の見直しは、現物バスケットの調整をしなければならない裁定業者等にとって頭痛の種ですね

ETFから除外されたり、裁定業者が外したりする銘柄があるわけですから、インパクトはあると思います



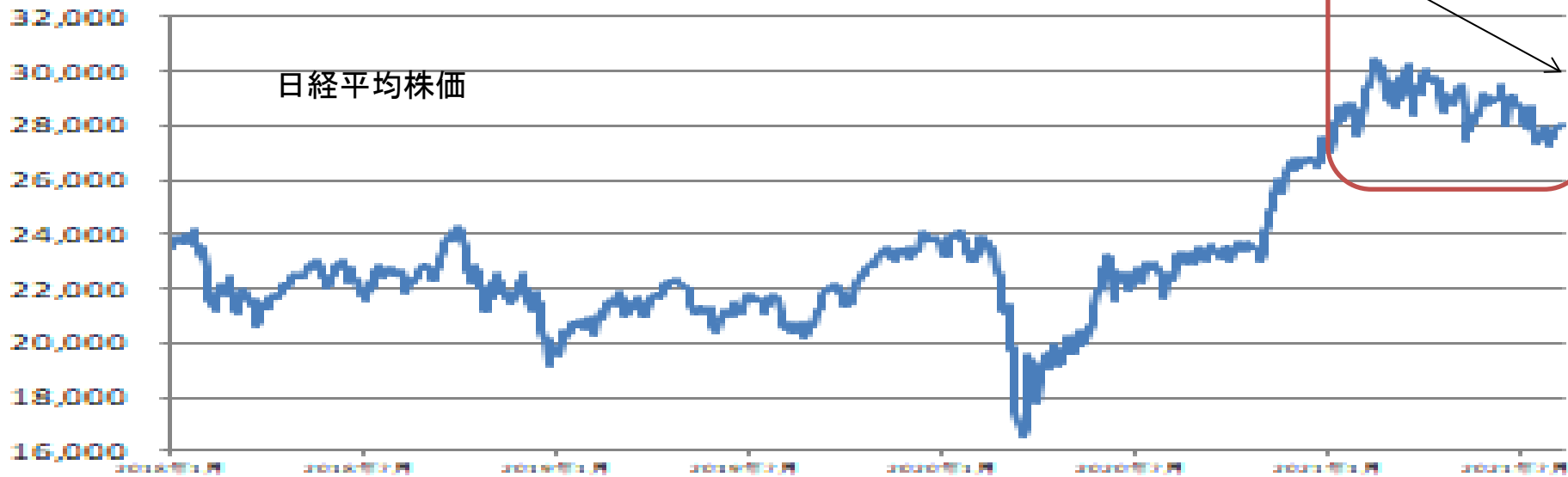
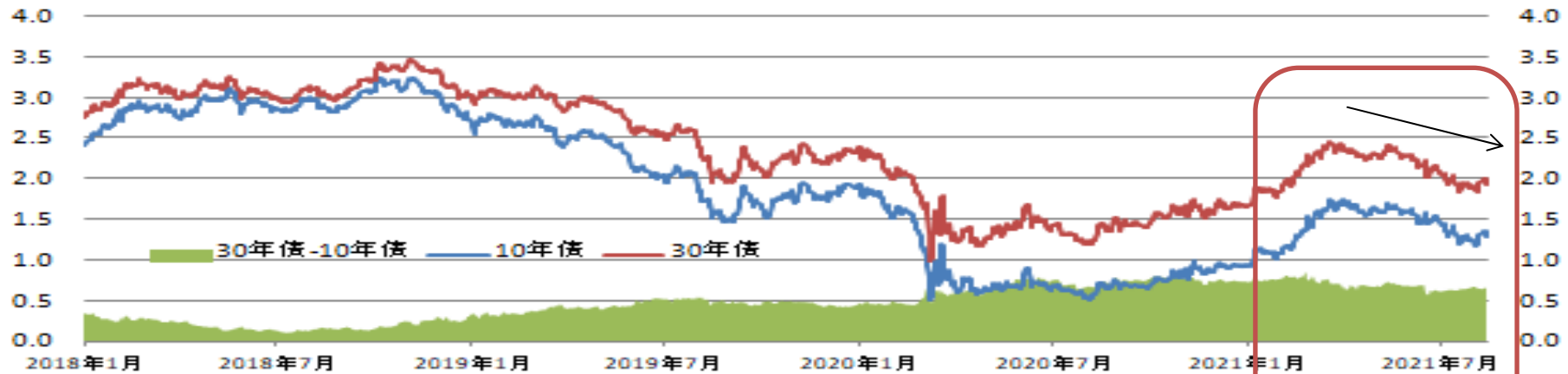
【グレイ・リノ】NT倍率と日経平均株価 (P.9)



出所) ブルームバーグなどより筆者作成(2021年8月13日現在)

今回の変更で、NT倍率は下がる方向、少なくとも上がりにくくなると思います

【グレイ・リノ】米金利上昇が日経平均株価上昇には必要？ (P.10)



米国の
景気拡大
↓
米国の
金利上昇
↓
日本の
輸出好調
↓
日本株
上昇

出所) ブルームバーグなどより筆者作成 (2021年8月13日現在)



OP売坊の2つの基本戦略： 売り戦略と買い戦略 (P.11)

<CALL売り戦略>

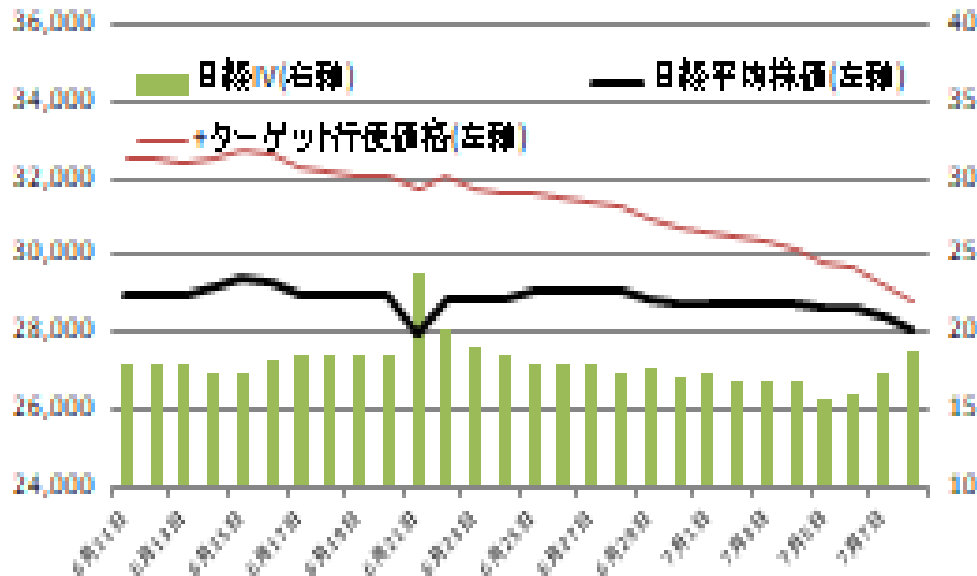


- ☆ SQ日まで数週間の中長期戦略
- ☆ 高**確率**に賭ける
- ☆ 安定的なキャッシュ・フローを生み出す
- ☆ 時間価値が時間の経過とともに減少
- ☆ 日本のインフレ率は低い

<買い戦略>



- ☆ 数時間～数日の短期戦略
- ☆ リスク限定戦略(損失限定)
- ☆ イベント・リスクの逆張り
- ☆ グレイ・リノを味方に
- ☆ 2倍、5倍、10倍も期待できる



出所)ブルームバーグより筆者作成



出所)楽天証券 マーケット・スピードから、筆者コメント挿入

イベント

- ☆ 政治・経済の重要日の前

異常値

- ☆ HVとIV (参考：7月26日放送)
- ☆ 乖離率
- ☆ 空売り比率、新高値・安値… …

日経平均とその移動平均線からの乖離率 (P.13)



出所) ブルームバーグなどより筆者作成(2021年8月13日現在)

日経OP売坊の重要視しているもの (P.14)

確率、勝率、収益率
パターン分析(時系列、分布)
資金管理、リスク管理
簡単、シンプル

私が比較的安全と考える
日経225CALL売りを中心に講座を
始めましたので「日経OP売坊」
ですが、適時「買い」もします



8/28セミナー ↓



OP売坊戦略コース ↓



メルマガ ↓



最後までご清聴、誠にありがとうございました。

実践日経オプション教室

www.jissennkop.blog.fc2.com

Copyright (c) 2019-2021日経OP売坊

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.